

# WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



## Weekly Report

VOL. 14 No. 35 TOTAL 597 平成24年4月9日 第615回例会  
 [例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30  
 [例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国  
 [事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階 (〒640-8249)  
 TEL073-435-3470/FAX073-435-3472  
 E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/後和 信英 [会報委員] ○宮本 和彦  
 副会長/西田美恵子 ○南方 孝一 田邊 和喜  
 幹事/小形みちる 足立 聖子 松本 博



2011-12年度  
 国際ロータリーのテーマ  
 こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
 R I会長 カルヤン・パネルジー  
 Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度  
 アゼリアロータリーのテーマ

おもう  
 『ロータリーの原点を回想』

### 〈本日の例会〉

■第615回例会 4月9日(月)

☆内部卓話 田邊 和喜会員

「弁護士のよもやま話し」

### 〈次回のお知らせ〉

■第616回例会 4月16日(月)

☆内部卓話 白神 修次会員

「今、夢中になっている事」

### 〈前回の例会記録〉

- ロータリーソング それでこそロータリー
- ゲスト紹介 和歌山労災病院 病院長 南條輝志男様
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数35名 内出席免除2名  
 本日の出席(4/2) 22/35名 62.85%  
 前々回修正出席(3/19) 27/34名 79.41%
- メイキャップ 役員及びクラブ行事へ 3名

### 〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

### ●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	4月9日(月)	卓話「国政の現状と課題」衆議院議員 岸本周平様
和歌山	4月10日(火)	
和歌山サウス	4月10日(火)	
和歌山東南	4月11日(水)	
和歌山西	4月11日(水)	
和歌山東	4月12日(木)	卓話 南海電気鉄道株和歌山支社 部長 和田 潔さん
和歌山城南	4月12日(木)	会員卓話「ナイショの話」
和歌山南	4月13日(金)	卓話「万歳 和歌山民謡」
和歌山中	4月15日(日)	[例会変更] 観桜家族会(日帰りバス旅行)

### ○会長報告



会長 後和信英

皆様、こんにちは、本日もご出席ありがとうございます。

4月は、ロータリー雑誌月間となっています。雑誌広報委員会の皆様よろしくお願ひします。

先週行われました、臨時理事会の報告をさせていただきます。

2011-2012年度 R I 第2340地区 地区ガバナー指名委員会委員長 亀岡 弘さんへ、久保治雄氏のガバナーノミニーに確定された事に異議申し立ての質問状に関して、和歌山北RCへは、同調しない事に決まりました。皆様にご報告させていただきます。

さて、本日の卓話のお題「風神雷神図屏風と和ろうそく」ですが、ちょうど祇園花見小路からすぐ近くの建仁寺が所蔵している絵図で、周辺には八坂神社、高台寺、知恩院、清水寺、平安神宮などがあります。また、これからのお花見シーズン、近くには有名な料理旅館があります。

祇園のBarでゆっくりと飲める老舗料亭「菊乃井」、「き乃ゑ」。また、祇園甲部歌舞練場の2階でお茶席が設けられる「井上流 八千代」などがおすすめです。

4/1~4/30に都をどり、5/1~24まで鴨川をどり(先斗町 鴨川 木屋町)のイベントも開催され、日頃の疲れを取りに京都の風情も良いのではないのでしょうか……

以上、本日の会長報告とさせていただきます。

## ● 幹事報告



幹事 小形みちる

皆様こんにちは。桜の花もちらほらと咲いて来て、一年も一番いい季節がやってきましたね。

さて今日は、月始めですので、東日本大震災義援・支援金の募金をよろしくお願い致します。

また、米山記念奨学会より、「米山梅吉記念館春季例祭」のご案内と、会報誌が届いておりますので回覧します。

1～3月分の個人寄付状況のお知らせを、ボックスにて配布しております。ご確認ください。以上です。

## ● 委員会報告

◎社会奉仕委員会

白神修次会員



識字率向上運動協賛のお礼

3月の識字率向上月間に伴い、地区から協賛のお願いで、皆様にご協力いただき有難うございました。

葉書が95枚、現金が4,000円集まり、ガバナー事務所の方へ郵送いたしましたことをご報告させていただきます。

## ● 内部卓話

「風神雷神図屏風と和ロウソク」



中村善夫会員

1. 「風神雷神図屏風」の思い出

平成18年の冬に近い秋の頃でした。

家族全員「僕、妻、長男、長女」で、

僕のわがまま丸出しにて東京の出光美術館へ「風神雷神図屏風」を観に行きました。

朝早く（確か3時頃）に起床。和歌山駅を5時前に出発の電車に乗り、東京に着いたのは10時前でした。

「風神雷神図屏風」には、江戸の初期に俵屋宗達が

描いたとされるものと、江戸の中期に尾形光琳が描いたもの、江戸の後期に酒井抱一が描いたものの3点があり、この3点が一堂に会した展覧会は、僕が行った平成18年のときの展覧会が実に66年ぶりのものであったそうです。

その後、平成20年には、東京国立博物館にて、この3点に加えて、酒井抱一の弟子である鈴木其一の風神雷神襖絵図を見る機会があり、11月中頃でした。無理やり仕事を中断して、金曜日の夜東京へ行って土曜日の朝早く、上野の公園を抜けて東京国立博物館へ行った思い出があります。今回、この文章を書くにあたり、上記2回の展覧会の時の図録を参考にしております。

2. 「風神・雷神」とは

「風神」は風の神様または風の妖怪のことで、風が農作物や漁業への被害を与えたり、人の体の中に入って病気の原因にもなるという、中世の信仰から生れたものだそうです。この頃だと風邪薬のコマーシャルにも登場していました。「雷神」とは雷の神様のことで、民間伝承ではおそれと親しみを込めて「雷さま」と呼ばれることが多いそうです。中国の戦国時代から秦・漢（6世紀）頃の「雷神」は「風神雷神図屏風」の雷神によく似た姿で描かれているそうで、仏教が中国より日本に伝えられるに伴い、この「風神・雷神」も日本に伝えられたとの事です。

3. 「風神雷神図屏風」を描いた3人（俵屋宗達／尾形光琳／酒井抱一）の時代

「俵屋宗達」が描いた時代は、制作年代が決まっていませんが、現在の有力説では、宗達の最晩年、寛永期（1640年前後）の京都ではないかとされています。「尾形光琳」が描いた時代は、俵屋宗達の描いた時代より80年のち、宝永末年（1710年）頃の京都ではないかとされています。

「酒井抱一」が描いた時代は、尾形光琳の描いた時代より100年あとの幕末期の文政4年（1821年）前後の江戸ではないかとされています。

#### 4. 「風神雷神図屏風」を描いた3人（俵屋宗達／尾形光琳／酒井抱一）の絵図の比較

「俵屋宗達」が描いたものは、三十三間堂にある「風神雷神」の彫像や貴族が所有していた「絵巻」（北野天神縁起絵巻）を参考にしたのではないかとされています。

「尾形光琳」が描いたものは、「俵屋宗達」のものを、上に薄い紙を貼って体や衣装などの輪郭線を忠実にトレース（写し取った）した事が明らかになっております。ただし、大きさは光琳のほうが宗達より大きく、雷神の太鼓なども宗達のものでは途中で切れてしまっている（だから大きく感じる）のに対し、光琳のものでは画面の中に納まっている（だからこじんまり感じる）。

「酒井抱一」の描いたものは、光琳のものを観て模写したもので、トレースしたものではありません。

#### 5. 3人の「風神雷神図屏風」から読み取れるものと、その人について

江戸時代は、現在とは異なり身分差別がありテレビやインターネットなどなく、情報量がほとんどない時代であるため、自分が気に入ったものがあったとしても身近に勉強できたり調べたりする事が簡単に出来る時代ではありませんでした。

「俵屋宗達」は、京都で扇屋を営む上層町衆の出であると言われ、後年は法橋（ホウキョ）という位を朝廷より与えられたほどの大活躍をした絵師ですが、それでも町人でしたので、その生没年さえ不明であります。

ちなみに「法橋」という位は、本来は高僧に与えられる僧位のひとつですが、後に仏師や絵師などにも

与えられるようになり、芸術家の場合、今で言う人間国宝に例えられます。でも、町人という身分だからでしょうか、生没年さえ不明で、その人自身の事は何もわかりません。資料が全くないということです。しかし、町人だからといっても貴族の人達とのつながりがあり、パートナーとして「本阿弥光悦」がおりました。この「本阿弥光悦」という人は、刀剣の鑑定、研磨を家業とする家に生まれましたが、今日ではむしろ「寛永の三筆」の一人に位置づけられる書家として（ちなみに残りの二人は近衛伊尹（コノエノブタダ）、松花堂昭乗（シヨウカドウシヨウジョ））、また陶芸、漆芸、出版、茶の湯などにも携わったマルチアーティストとして名を残している有名人であり、有力な貴族や武士とのつながりが深かったのでしょうか。そうでなければ絵巻など観る機会もなかったはずです。

また「尾形光琳」は、裕福な呉服商の子どもであり、宗達のパートナーであった、「本阿弥光悦」の親戚になるそうで、だからこそ宗達の「風神雷神図屏風」を何日もかけてその輪郭線を写し取ることもできたのであります。

また、44歳の時（1701年）に「法橋」の位を得ております。「尾形光琳」や「酒井抱一」については、いろいろな資料がたくさんあります。逆に言えばそれだけ身分が高かったのと、生きた時代が今に近い証拠であります。

昔の人で身分が低いと資料がほとんどありません。それに比べ、酒井抱一は武士の生まれでありましたが、光琳の風神雷神図屏風はその当時十一第將軍徳川家斉（イエナリ）の実父・一橋治済（ハルサダ）の所有物であり、観ることができただけでも幸せなものでトレースなどできるはずもありませんでした。また、宗達の「風神雷神図屏風」のことなど、あることさえ知らなかったようです。よって、抱一にとって「風神雷神図屏風」は光琳のオリジナルだと思っ

ていたのであろうと思われます。ちなみに、武士の生まれといっても、姫路藩主の次男として生まれており、名士であります。

## 6. なぜ「和ろうそく」なのか

ここで、突然話は変りまして、和ろうそくとなります。ろうそくは、大別して原料・成型方法が異なる和ろうそくと洋ろうそくに分けられます。和ろうそくは、現在は主に科学製品の蠟を、芯を入れた形に流し込んで成型して作られています。明治以降、洋ろうそくの輸入により和ろうそくを使用することが少なくなり、現在では自宅での仏壇等に使用するろうそくも洋ろうそくであることがほとんどであると聞いております。うちの家も洋ろうそくです。

なぜ、本日の卓話に日本画の話に「和ろうそく」がついてくるのか？それは絵を観るときの光に関することでありまして、和ろうそくと洋ろうそくでは、その炎の質が違います。一番の違いは炎のゆらぎがある。このゆらぎによって、観る絵の表情が変わります。特に、金屏風などは、ググッと迫るものがあります。「金色」は均等な光により平面的に見ると「黄色」なのですが、その中に光る部分の「白」と、影の部分である「黒」が加わることにより、俗に言われる「金色」が表れてくるのであります。

和ろうそくの炎のゆらぎによって金の面に光る部分の「白」と、影の部分である「黒」をより鮮明に表し、その上光がゆらぐと絵自体もなんとなく動くような気がします。

私は、夜の真っ暗な部屋の中で、和ろうそくの炎のもと「風神雷神図屏風」のドロっとした絵を観ながら一杯やりたいのであります。

ただ、和ろうそくは僕の資力でも購入可能なのですが「風神雷神図屏風」の購入は無理です。それなら自分で作ればいいんだと思い到った訳であります。自分の手で何年かかるかわかりませんが、僕は自分

なりの「風神雷神図屏風」を作って、一杯やるつもりであります。皆様、乞うご期待のほどを。



## ◎お誕生祝い

松本 良二会員 4月13日

中尾 八朗会員 4月27日

お誕生日おめでとうございます。



## ◎S・A・A報告【3つの箱】

### \*ニコニコ箱

川野富喜子会員 皆様いつも御世話になっております。

中尾八朗会員 和歌山に来て2度目の春を迎えました。地域の方達に感謝。アゼリアのメンバーにも感謝です。

小形みちる会員 松本会員、中尾会員、お誕生日おめでとうございます。いつまでも若々しくいて下さいネ。

本日合計額 6,000円 今年度累計額 1,030,000円

### \*ロータリー財団

川野富喜子会員 中尾八朗会員

本日合計額 8,000円

### \*米山奨学

川野富喜子会員 中尾八朗会員

本日合計額 8,000円